

## MONOPOLY

Analog 4-Voice Polyphonic Synthesizer with 37 Full-Size Keys, 4 VCOs, VCF, 2 LFOs, 2 Envelopes, Sync and Cross Modulation and Arpeggiator

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

**限定保証**

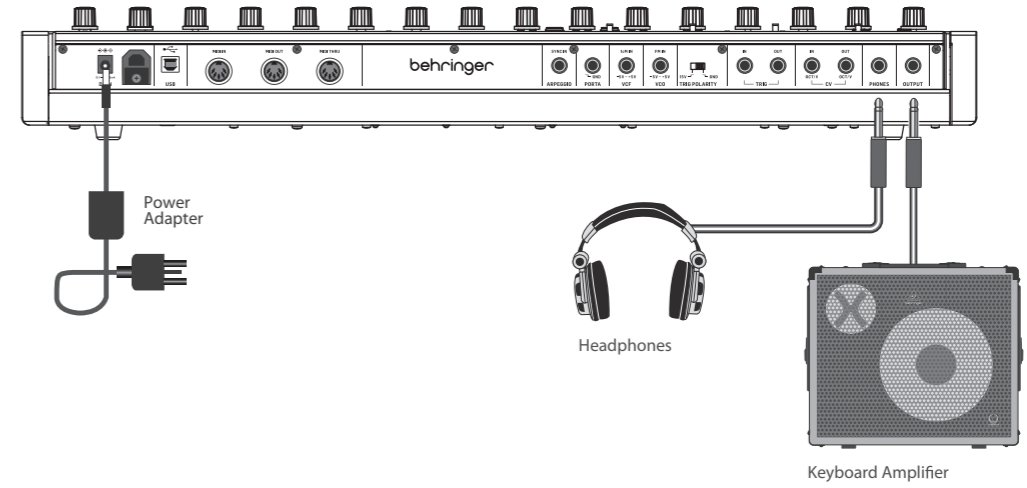
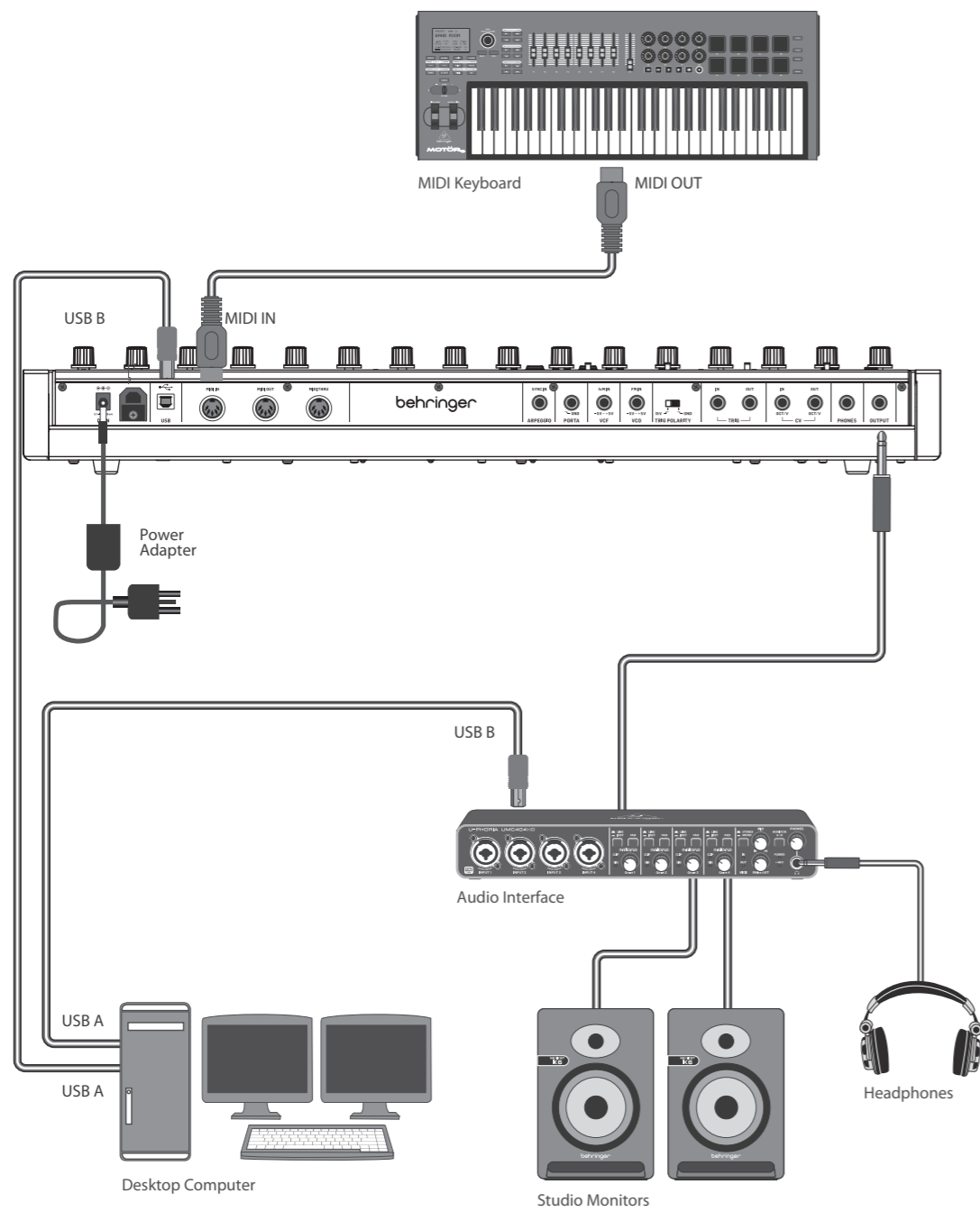
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

# MONOPOLY フックアップ

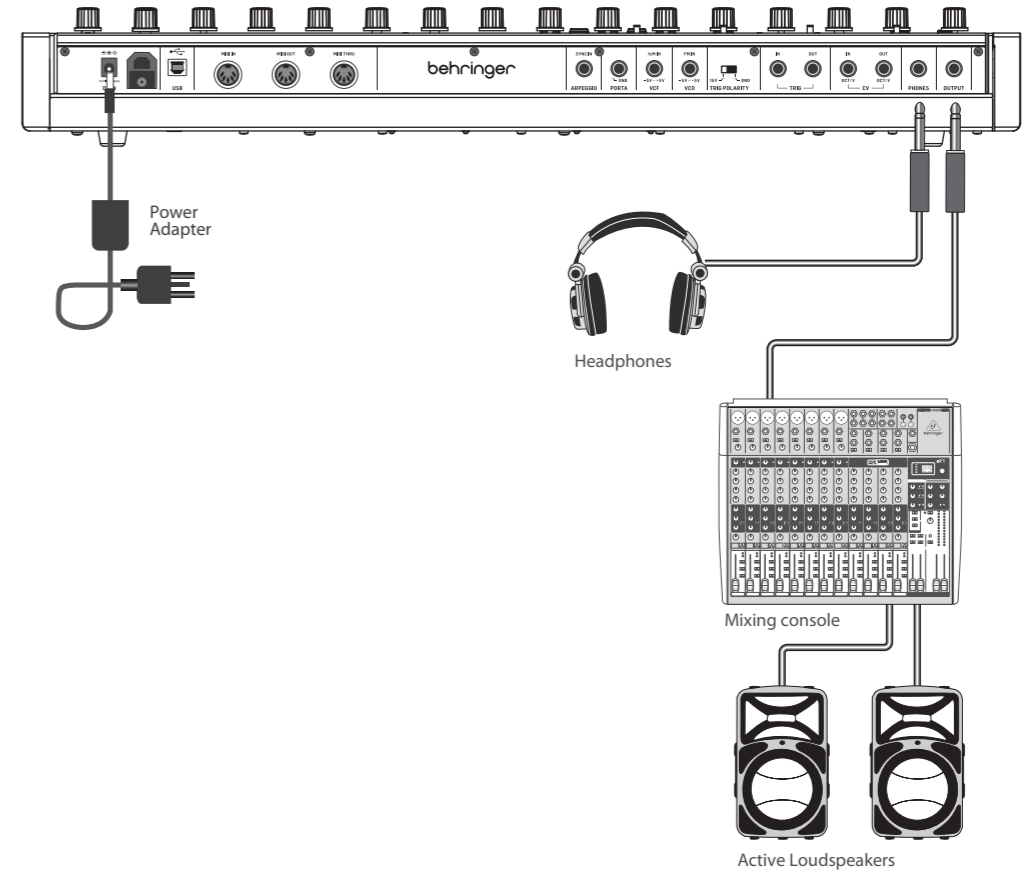
## ステップ 1: フックアップ

スタジオシステム

バンド / 練習システム

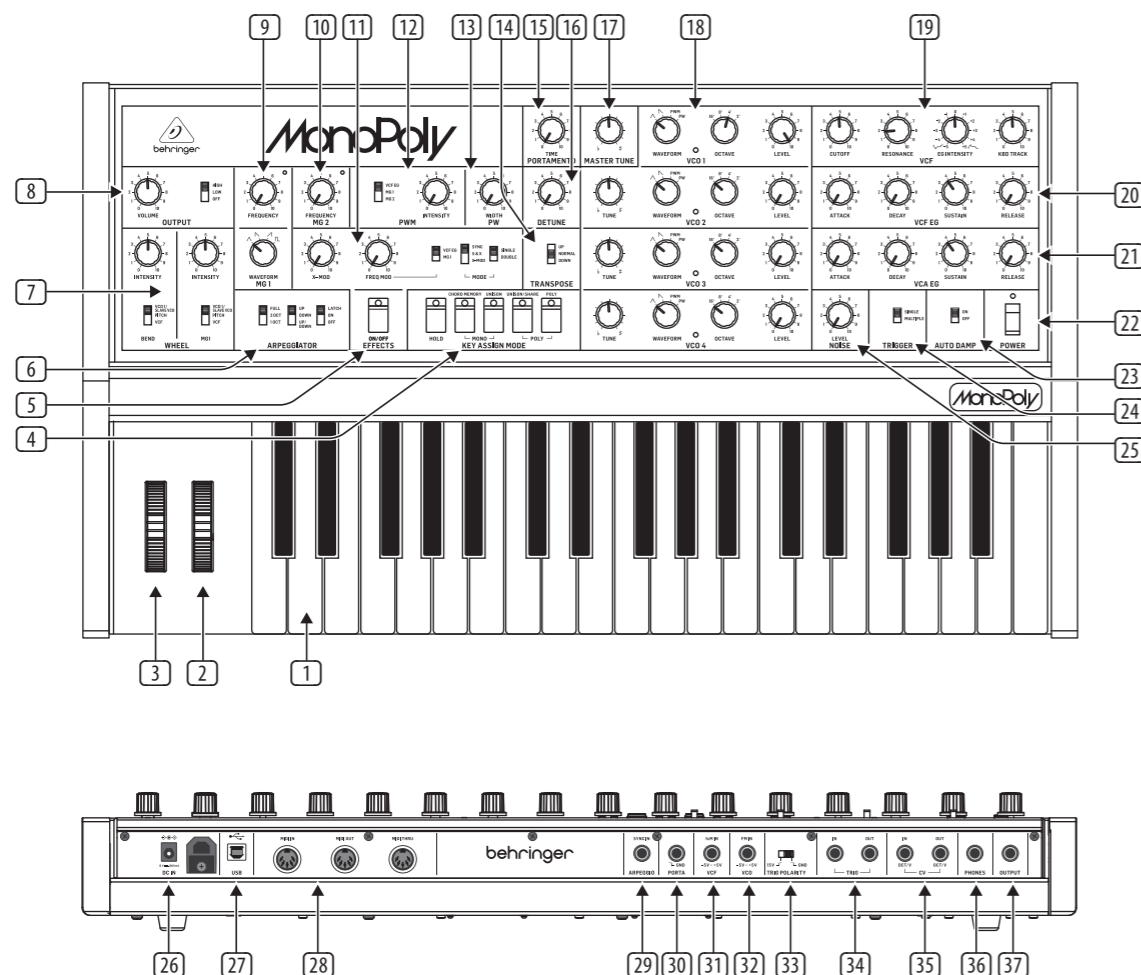


バンド / 練習システム



# MONOPOLY コントロール

## ステップ 2: コントロール



① **キーボード** - 37 鍵セミウェイトッドフルサイズ鍵盤。

② **MG1ホイール** - オフ～最大の間でモジュレーションの深さを調節します。両ホイールの動作については、ホイールコントロール (7) で調節およびカスタマイズします。

③ **ベンドホイール** - 中央のデント位置を中心として、ピッチを上下に変化させます。

④ **KEY ASSIGN MODE (キーアサインモード)** - キーボードをシンセサイザーに割り当てる方式を選択するスイッチです (詳しくは“クイックスタートガイド”をご参照ください)。

**HOLD (ホールド)** - プレイされる全ノートにホールドします (HOLD スイッチを押す前に、KEY ASSIGN スイッチを選択します)。

**CHORD MEMORY (コードメモリー)** - POLY または UNISON/SHARE モードで任意のコードをプレイおよびホールドし、CHORD MEMORY を押します。するとコードが記憶され、キー 1 つでプレイバック可能になります。

**UNISON (ユニゾン)** - モノフォニックモードで、1 つのキーを押すと全 VCO をプレイします。

**UNISON/SHARE (ユニゾン/シェア)** - ポリフォニックモードで、プレイされたノート数を自動的に VCO にシェアします。

**POLY (ポリ)** - 従来型のポリフォニックモードで、各 VCO にプレイした順にノートを割り当てます。

⑤ **EFFECTS ON/OFF (エフェクトオン/オフ)** - X-MOD/FREQ-MOD/MODE コントロールを使って創出されたエフェクトを有効/無効にします (11 の項をご覧ください)。

⑥ **ARPEGGIATOR (アルペジエーター)** - アルペジエーターのセットアップに使用する 3 つのスイッチです:

**ALL/2OCT/1OCT (オール/1オクターブ/2オクターブ)** - オクターブ範囲を選択します。

**UP/DOWN/UP-DOWN (アップ/ダウン/アップ-ダウン)** - プレイバックノートの順番を選択します。

**LATCH/ON/OFF (ラッチ/オン/オフ)** - LATCH を選択すると、全ノートをリリースした状態で、アルペジオをホールドします。ON または OFF を選択すると、アルペジオの有効/無効を切り替えます。

MG2 FREQUENCY でアルペジオのテンポを調節します。アルペジオの作成開始時に、ここがゼロでない事をご確認ください。

⑦ **WHEEL (ホイール)** - ベンドと MG1 ホイールの動作選択および効果の強度を調節するセクションです。

**INTENSITY** - 各ホイールの効果の強さまたはエフェクトを調節します。ゼロに設定すると、ホイール操作による効果がまったく無くなります。

**SELECTOR** - 各ホイールのオペレーションを選択します:

**VCO 1/SLAVE VCO** - EFFECTS スイッチがオフの場合、ベンドホイールは VCO1 に作用します。EFFECTS がオンの場合、スレーブ VCO に作用します。MG1 ホイールは VCO1 またはスレーブ VCO をモジュレートします。

**PITCH (ピッチ)** - ベンドホイールは全 VCO をピッチベンドします。MG1 ホイールはピッチをモジュレートします。

**VCF** - ベンドホイールはフィルターのカットオフ周波数に直接作用し、MG1 ホイールはそれをモジュレートします。

⑧ **OUTPUT (出力)** - メイン出力とヘッドフォン出力の全体的な音量レベルを調節します。必ずこのつまみを「0」にしてから、電源をオンにする、またはヘッドフォンや外部アンプリファー、機材などを接続します。

⑨ **FREQUENCY MG1 (MG1 周波数)** - モジュレーションジェネレーター 1 (MG1) の周波数を調節します。LED は設定した周波数に合わせて点滅します。

**WAVEFORM MG1 (MG1 波形)** - MG1 の波形を三角波、逆ノコギリ波、ノコギリ波、またはパルスの中から選択します。

⑩ **FREQUENCY MG2 (MG2 周波数)** - モジュレーションジェネレーター 2 (MG2) の周波数を調節します。LED は設定した周波数に合わせて点滅します。MG2 の波形は三角波です。

⑪ **X-MOD/FREQ-MOD/MODE** - これらのコントロール類を使用してエフェクトを設定し、その後 EFFECTS スイッチでオン/オフします。マスター VCO およびスレーブ VCO の関係性に基づき多彩な効果が生まれます。

**X-MOD** - X-MOD または S&X モードにおいて、クロスモジュレーションのレベルを調節します。

**FREQ MOD** - スレーブ VCO のみに与える周波数モジュレーションを制御するノブおよびスイッチです (SINGLE/DOUBLE スイッチの設定に依拠)。

### MOD MODES -

**SYNC** - スレーブ VCO は対応する各マスター VCO と同期します。

**S&X** - 同期したオシレーター (S) とクロスモジュレーション (X) のコンビネーションです。

**X-MOD** - VCO を別の VCO によって周波数モジュレートされる、クロスモジュレーションです。

**SINGLE** - VCO1 がマスター、VCO2-4 がスレーブとなります。

**DOUBLE** - VCO1 がマスターで VCO2 がそのスレーブに、VCO3がマスターで VCO4がそのスレーブになります。

⑫ **PWM** - VCO の波形として PWM を選択した場合、これらのコントロールを使用して調節します:

**VCO EG/MG1/MG2** - パルス幅のモジュレートに使用するソースを選択します。

**INTENSITY (強度)** - モジュレーションの強度を調節します。

⑬ **PW WIDTH (PW 幅)** - VCO の波形に PW を選択した際、このコントロールを使用してパルス幅の広狭を調節します。

⑭ **TRANSPOSE (トランスポーズ)** - VCO 設定を調節することなく、キーボードを 1オクターブずつ上下するスイッチです。ここでの設定はまた背面パネルの CV OUT および VCF の KYB TRACK 制御にも作用します。

**UP (アップ)** - キーボードを 1オクターブ上げます。

**NORMAL (ノーマル)** - 通常のオクターブ位置です。

**DOWN (ダウン)** - キーボードを 1オクターブ下げます。

# MONOPOLY コントロール

**15 PORTAMENTO (ポルタメント)** - プレイするノート間のポルタメント (またはグライド)の量を調節します。

**16 DETUNE (デチューン)** - Unison モードでこのコントロールを調節し、4つのVCO を逆方向にデチューンして、ファットな音を創出します。ゼロにリセットすると、VCO がポリフォニックプレイに戻ります。

**17 MASTER TUNE (マスターチューン)** - VCO 1-4 の周波数を調節します。

**18 VCO 1, 2, 3, 4** - MONOPOLY には相似するコントロールを装備した、4 つのボルテージコントロールド オシレーター (VCO)があります。VCO がオンの間、LED が点灯します。

**TUNE (チューン)** - VCO 2, 3、または 4 の周波数を調節します。

**WAVEFORM (波形)** - 三角波、逆ノコギリ波、PWM、または PW の中から波形を選択します。

**OCTAVE (オクターブ)** - VCO オクターブを、2、4、8 および 16 より選択します。

**LEVEL (音量)** - VCO の出力音量を調節します。

**19 VCF** - ボルテージコントロールド フィルター (VCF) はローパスフィルターで、カットオフ周波数より上のオーディオ周波数を減衰します。

**CUTOFF (カットオフ)** - カットオフ周波数を調節します。

**RESONANCE (レゾナンス)** - カットオフ周波数に与える、音量レベルブーストの量を調節します。

**EG INTENSITY (EG 強度)** - フィルターエンベロープが VCF に作用する強さを調節します。

**KYB TRACK (キーボードトラック)** - カットオフ周波数がキーボードに追従する程度を調節します (たとえば、高いノートをプレイした時、カットオフ周波数も上がるか、変化しないか)。

**20 VCF EG** - ボルテージコントロールド フィルターに作用するエンベロープジェネレーター (EG) を制御するノブです。カットオフ周波数の時間的変化に作用します。

**ATTACK (アタック)** - カットオフ周波数が、CUTOFF コントロールで設定した周波数に達するまでの時間を調節します。

**DECAY TIME (ディケイタイム)** - カットオフ周波数が、アタックタイム後サステイン周波数に減衰するまでの時間を調節します。

**SUSTAIN (サステイン)** - アタックタイムとイニシャルディケイ時間に達した後、カットオフをサステインする周波数を調節します。

**RELEASE (リリース)** - ノートのリリース後、カットオフ周波数をリリースするのにかかる時間を調節します。

**21 VCA EG** - ボルテージコントロールド アンプリファァ (VCA)に作用するエンベロープジェネレーター (EG) を調節するノブです。コントロール類は音量の時間的変化に作用します。

**ATTACK (アタック)** - 音量レベルが最大に達するまでの時間を調節します。

**DECAY TIME (ディケイタイム)** - アタックタイムに達した後、音量がサステインレベルまで下がるのにかかる時間を調節します。

**SUSTAIN (サステイン)** - アタックタイムおよびイニシャルディケイ時間に達した後、サステインするレベルを設定します。

**RELEASE (リリース)** - ノートのリリース後、音量レベルが減衰するのにかかる時間を調節します。

**22 POWER (電源)** - シンセサイザーをオン/オフします。かならず全ての接続を完了してから、ユニットをオンにします。シンセサイザーへの給電時およびシンセサイザーがオンの時は、LED が点灯します。

**23 AUTO DAMP ON/OFF (オートダンプオン/オフ)** - 「OFF」では、コードは POLY モードでプレイされ、全てのノートをリリースしたり新しいノートをプレイしたりしても、コードは鳴り続けます。「ON」では、リリースしていないノートのみが鳴り続けます;その他はダンプされます。

**24 TRIGGER (トリガー)** - 両エンベロープジェネレーターがキーボードによってトリガーされるアタックサイクルを、以下の 2 つより選択します (この設定は背面パネルの TRIG OUT にも作用します)。

**SINGLE (シングル)** - 新規ノートがアタックサイクルをトリガーしますが、それ以前のノートがホールドされている場合や、HOLD がオンになっている場合はトリガーしません。

**MULTIPLE (マルチプル)** - 以前のノートをホールドしていたり、HOLD がオンになっている場合でも、新規ノートがアタックサイクルをトリガーします。

**25 NOISE (ノイズ)** - 内部ノイズソースのレベルを調節します。

## 背面パネル

**26 DC 入力** - ここに付属の 12V DC 電源アダプターを接続します。電源アダプターは 100V - 240V、50 Hz/60 Hz に対応した AC コンセントに接続してください。必ず付属の電源アダプターのみをご使用ください。

**27 USBポート** - コンピューターと接続するための、USB B タイプジャックです。MONOPOLY は、MIDI 入出力に対応したクラスコンプライアント USB MIDI 機器として認識されます。

**USB MIDI IN (USB MIDI入力)** - アプリケーションから送信される MIDI データを受け入れます。

**USB MIDI OUT (USB MIDI出力)** - MIDI データをアプリケーションに送信します。

**28 MIDI IN (MIDI入力)** - 外部ソースから MIDI データを受信する 5 ピン式 DIN ジャックです。外部ソースとは通常、外部 MIDI 鍵盤、ハードウェアセンサー、または MIDI インターフェイスを装備したコンピューターなどを指します。

**MIDI OUT (MIDI出力)** - MIDI データを出力する 5 ピン式 DIN ジャックです。

**MIDI THRU (MIDIスルー)** - MIDI 入力で受信した MIDI データをパススルーする、5 ピン式 DIN ジャックです。

**29 ARPEGGIO (アルペジオ)** - 外部機器からアルペジオをトリガーする際に使用する、 $\frac{1}{4}$  インチ TRS クロック入力。

**30 PORTAMENTO (ポルタメント)** - フットスイッチを接続し、ポルタメントの有効/無効を切り替えます。

**31 VCF** - フィルターのカットオフ周波数を、Behringer FCV100 V2 や、FC600 V2 エクスプレッションペダル (CV 極性を TRS に設定し、TRS コードを使用) 等を使ってモジュレートします。

**32 VCO** - 上述のようなペダルを使って、ピッチを制御できます。

**33 TRIG POLARITY (トリガー極性)** - TRIG In (トリガー入力) および TRIG Out (トリガー出力)のトリガー極性を、+15V (正方向、ボルテージトリガーリング)または接地 (負方向、スイッチトリガーリング)のいずれかより選択します。

**34 TRIG (トリガー)** - 別のMONOPOLY ユニット、互換性のあるモノフォニックシンセサイザー、または別のモジュラー機器などのトリガー入力および出力に接続します。

TRIG POLARITY (トリガー極性) スイッチは、お使いの外部機器のトリガー入出力に合わせて設定してください。

**TRIG OUT (トリガー出力)** - この出力端子と、お使いの外部機器のトリガー入出力とを接続します。出力タイプは TRIG POLARITY スイッチで設定し、フロントパネルの SINGLE/MULTIPLE TRIGGER スイッチに従います。

**TRIG IN (トリガー入力)** - この入力端子と、お使いの外部機器のトリガー出力とを接続します。トリガー信号は全 VCO をオンにし、VCF および VCA エンベロープジェネレーターをトリガーします。

**35 CV** - 別の MONOPOLY ユニット、モノフォニックシンセサイザー、または別のモジュラー機器の CV 入力および出力に接続します。それにより (1V/オクターブ) コントロールボルテージシステムを使用します。

**CV IN (CV入力)** - この入力とお使いの外部機器の CV 出力に接続します。この入力に割り当てられた外部ボルテージのみがノートを制御できます。VCO はモノユニゾンモードになります。

**CV OUT (CV出力)** - この出力とお使いの外部機器の CV 入力に接続します。最高音かつ、最後にプレイされたノートが出力されます。前面パネルの TRANSPOSE スイッチは、1 オクターブに 1 ボルトのチェンジで CV 出力の値に作用します。

**36 PHONES (ヘッドフォン出力)** - ヘッドフォンを接続するための  $\frac{1}{4}$  インチ TRS 出力です。必ず、音量が下がっていることを確認してから、ヘッドフォンを装着してください。

**37 OUTPUT (出力)** - 外部機器のラインレベル入力端子に接続するための、 $\frac{1}{4}$  インチ TS 出力です。

# MONOPOLY はじめに

## ステップ 3: はじめに

### 概要

この「クイックスタートガイド」では、MONOPOLY アナログシンセサイザーのセットアップ方法と、本機の機能についての簡潔な解説をいたします。

### 接続

MONOPOLY をお使いのシステムに接続する際は、本マニュアル冒頭の接続例をご参照ください。

### ソフトウェアセットアップ

MONOPOLY は USB クラスコンプライアント MIDI 機器ですので、ドライバーのインストールは不要です。MONOPOLY を Windows および MacOS でご使用になる場合、追加でドライバーをインストールする必要はありません。

“Synthtool” アプリケーションでは、MIDI チャンネル番号を選択し、お好みに合わせて MONOPOLY の様々なパラメーターを設定・調節できます。

SysEx コマンドも使用可能です。本マニュアルの後半をご参照ください。

### ハードウェアセットアップ

お使いのシステムの接続をすべて済ませます。

必ず付属の電源アダプターを使用して、MONOPOLY に給電します。お使いのサウンドシステムの電源は必ずオフにしておいてください。MONOPOLY の電源スイッチをオンにします。

### ウォームアップタイム

レコーディングやライブパフォーマンスで MONOPOLY をご使用になる前に、15 分以上のウォームアップタイムを確保していただくことを推奨いたします（寒冷な場所から持ち込んだ場合はさらに時間を延長してください）。それによりアナログ回路が通常操作温度に達し、精度の高いパフォーマンスを発揮します。

### ファーストサウンド

以下の手順を、シンセサイザーでのサウンドメイキングにお役立てください：

1. VOLUME を少しだけ上げ、隣接するスイッチは「High」または「Low」（Off 以外）に設定します。
2. VCF CUTOFF を最大に設定します。

3. VCA EG SUSTAIN を 5 以上に設定し、ATTACK は 0 にします。
4. VCO1 LEVEL を最大にし、WAVEFORM は三角波を選択します。
5. ホイールの効果を発揮させるには、INTENSITY ノブを 5 以上に設定します。初期設定として、MG1 ホイールは最小にします。
6. キーボードをプレイし、安全で快適な音量レベルに調節します。
7. 他の VCO の LEVEL および WAVEFORM も調節し、様々な設定やチューニングを試します。
8. NOISE LEVEL を調節し、適宜ホワイトノイズを付加します。

### VCO 部

MONOPOLY は 4 つのボルテージコントロールド オシレーター (VCO) と、内部ノイズジェネレーターを備えています。それら単体で、また組み合わせて、サウンドを生成します。

VCO コントロールで、各 VCO の音量調節、波形選択、オクターブおよびチューニングを調節します。MASTER TUNE では全 VCO を同時に調節します。DETUNE は各 VCO のチューニングを微かに分離し、アンサンブルに似た太いサウンドを創成します。TRANSPOSE では、全 VCO のオクターブを上下します。

波形に PWM および PW を選択した場合、PWM のモジュレーションと、PW の幅を調節します。

### VCF フィルターおよび EG 部

ボルテージコントロールド フィルター (VCF) はローパスフィルターで、カットオフ周波数より高域のオーディオ周波数が減衰されます。Frequency (カットオフ周波数)、Resonance (レゾナンス) および Intensity (強度) を調節し、サウンドへの効果を確認します。

VCF EG エンベロープジェネレーターで、Attack タイム、Decay タイム、Sustain レベルおよび Release タイムを設定します；これらはノートがプレイされた時の、カットオフ周波数の時間的変化に作用します。また VCF EG は、PWM 波形のモジュレーション、およびエフェクト部の周波数モジュレーションにも作用します。

キーボードトラッキングノブは、プレイされたノートの周波数からフィルターが受ける作用の強さに関与します。

### VCA EG 部

ボルテージコントロールド アンプリファァーのエンベロープジェネレーターのコントロール類を調節します: Attack タイム、Decay タイム、Sustain レベル および Release タイム。これらはノートプレイ時の、全体的な音量の時間的変化に作用します。

### MG1 および MG2

2 つの別々のモジュレーションジェネレーターで、それぞれが異なるパラメーターを、興味深い効果でモジュレートします。

MG1 では周波数コントロールと、また三角波、逆ノコギリ波、ノコギリ波、およびパルスのうちから波形を選択します。MG1 は PWM 波形幅のモジュレーションと、エフェクト部の周波数モジュレーションにも使用します。MG1 ホイールでは効果の強度を調節し、および VCO1 (EFFECTS がオンの時にはスレーブ VCO)、ピッチ、または VCF カットオフ周波数をモジュレートします。

MG2 は周波数コントロールと、三角波を備えています。周波数コントロールはアルペジオテンポ (アルペジオ使用時には「0」以外に設定してください) の調節に使用します。MG2 は、PWM 波形の幅もモジュレートします。

### KEY ASSIGN MODE (キーアサインモード)

シンセサイザーへのキーボードアサイン方法を、ホールド、2 つのモノフォニックおよび 2 つのポリフォニックのいずれかより選択する、発光スイッチです。

**HOLD (ホールド)** - プレイしたノートをホールドします (HOLD を押す前に KEY ASSIGN スイッチを選択します)。

**CHORD MEMORY (コードメモリー)** - POLY または UNISON/SHARE モードで、任意のコードをプレイしてホールドし、CHORD MEMORY を押します。するとコードが記憶され、キー 1 つでプレイバックできるようになります。注意: CHORD MEMORY を押している時にノートをまだホールドしていたり、シンセサイザーの電源をオフにした場合でも、メモリーは保存されます。ホールド機能はコード作成に利用でき、また CHORD MEMORY はアルペジオーターと併用もできます。

**UNISON (ユニゾン)** - モノフォニックモードで、キー 1 つのプレイで全 VCO をプレイします。各 VCO は別々に調節できます。

**UNISON/SHARE (ユニゾン/シェア)** - このポリフォニックモードでは、プレイしたノートの数を各 VCO 間で自動的にシェアします:

- 1 ノート: VCO1-4
- 2 ノート: VCO1-2 (1 番目のノート) および VCO3-4 (2 番目)
- 3 ノート: VCO 1,2,3 (VCO4 無し)。
- 4 ノート: VCO1,2,3,4
- 4 つ以上のノートがプレイされた場合、VCO1 は直近のノートをプレイします。

**AUTO DAMP** スイッチで、リリースしたノートをサステインするか、ダンプするかを選択します。

**POLY (ポリ)** - 従来のなポリフォニックモードで、ノートをプレイした順に VCO に割り当てます:

- 1 ノート: VCO1
- 2 ノート: VCO1 (1 番目のノート)、VCO2 (2 番目)
- 3 ノート: VCO1 (1 番目のノート)、VCO2 (2 番目)、VCO3 (2 番目)
- 4 ノート: VCO1 (1 番目のノート)、VCO2 (2 番目)、VCO3 (3 番目)、VCO4 (4 番目)
- 4 つ以上のノートをプレイした場合、使用可能な一番低い VCO が直近のノートをプレイします。AUTO DAMP スイッチで、リリースしたノートをサステインするか、ダンプするかを選択します。

### EFFECTS (エフェクト)

X-MOD、FREQ-MOD、および MODE コントロールでエフェクトを設定し、EFFECTS スイッチでオン/オフを切り替えます。エフェクトは、マスター VCO とスレーブ VCO の関係性が基になります (SINGLE/DOUBLE スイッチの設定に依拠)。

**X-MOD (クロスモジュレーション)** - X-MOD または S & X モードの時に、クロスモジュレーションのレベルを調節します。スレーブ VCO はマスター VCO により周波数モジュレートされます。

**FREQ MOD (周波数モジュレーション)** - スレーブ VCO のみに与える周波数モジュレーションを制御する、ノブおよびスイッチ。

ノブは、スレーブ VCO に対する周波数モジュレーションの強さを制御します。

**VCF EG/MG1** スイッチで、スレーブ VCO をスレーブするソースを、VCF エンベロープジェネレーターのトリガー、またはジェネレーター 1 のモジュレーションの、いずれかより選択します。

### MOD モード

**SYNC (シンク)** - スレーブ VCO はそれぞれのマスター VCO に合わせて同期します。また、VCO が少しチューニングから外れている時に、ビートイン/アウトするのを防ぎます。

**S & X** - シンクロナイズドオシレーター (S) およびクロスモジュレーション (X) のコンビネーションです。

**X-MOD** - クロスモジュレーション。

**SINGLE (シングル)** - VCO1 がマスター、VCO2-4 がスレーブとなります。

**DOUBLE (ダブル)** - VCO1 がマスターで VCO2 がそのスレーブに、VCO3 がマスターで VCO4 がそのスレーブになります。

### ARPEGGIATOR (アルペジオーター) 部

アルペジオーターを設定するスイッチ類です。MG2 FREQUENCY ノブでテンポを調節します。

**ALL/2OCT/1OCT (オール/2オクターブ / 1オクターブ)** - オクターブ範囲を選択します。

**UP/DOWN/UP-DOWN (アップ / ダウン / アップ-ダウン)** - ノートがプレイバックされる順番を、上昇、下降、またはその両方の、いずれかより選択します。

**LATCH/ON/OFF (ラッチ / オン / オフ)** - LATCH を選択するとノートを全てリリースした後もアルペジオをホールドします。ON または OFF で、アルペジオの有効/無効を切り替えます。

注意: アルペジオ作成時、MG2 FREQUENCY ノブは「0」以外に設定してください。

アルペジオは外部機器でもトリガー可能で、その場合は外部機器を背面パネルのアルペジオ入力に接続します。

### オートキャリブレーション

MONOPOLY の電源をオンにし、30 分間ウォームアップします。

自動キャリブレーションモードに入るには、EFFECTS ボタンをホールドしながらユニットの電源をオンにします。続いて VCO がキャリブレートされます。成功すると、関連する各 VCO LED が点滅します；失敗した場合は点灯しません。

工場出荷時の状態に復帰するには、HOLD ボタンと EFFECTS ボタンをホールドしながらユニットの電源を入れます。

### ファームウェアアップデート

SynthTool アプリは当社ウェブサイト (behringer.com) 内にある MONOPOLY 製品ページより無料でダウンロードいただけます。

最新のファイルは必要に応じてお使いのコンピューターにダウンロードおよび保存された後、MONOPOLY のアップデート に使用されます。

### 楽しくご使用ください

MONOPOLY はトリガーおよび CV 入力 / 出力を装備し、別の MONOPOLY ユニットやモジュラーシンセサイザー機器と組み合わせ、さらなる音の実験をお楽しみいただけます。

本マニュアル巻末のパッチシートをコピーして、お好みのセッティングを記録するのにご使用ください。

当社一同、お客様に MONOPOLY シンセサイザーを楽しくご使用いただけますことを、心より願っております。

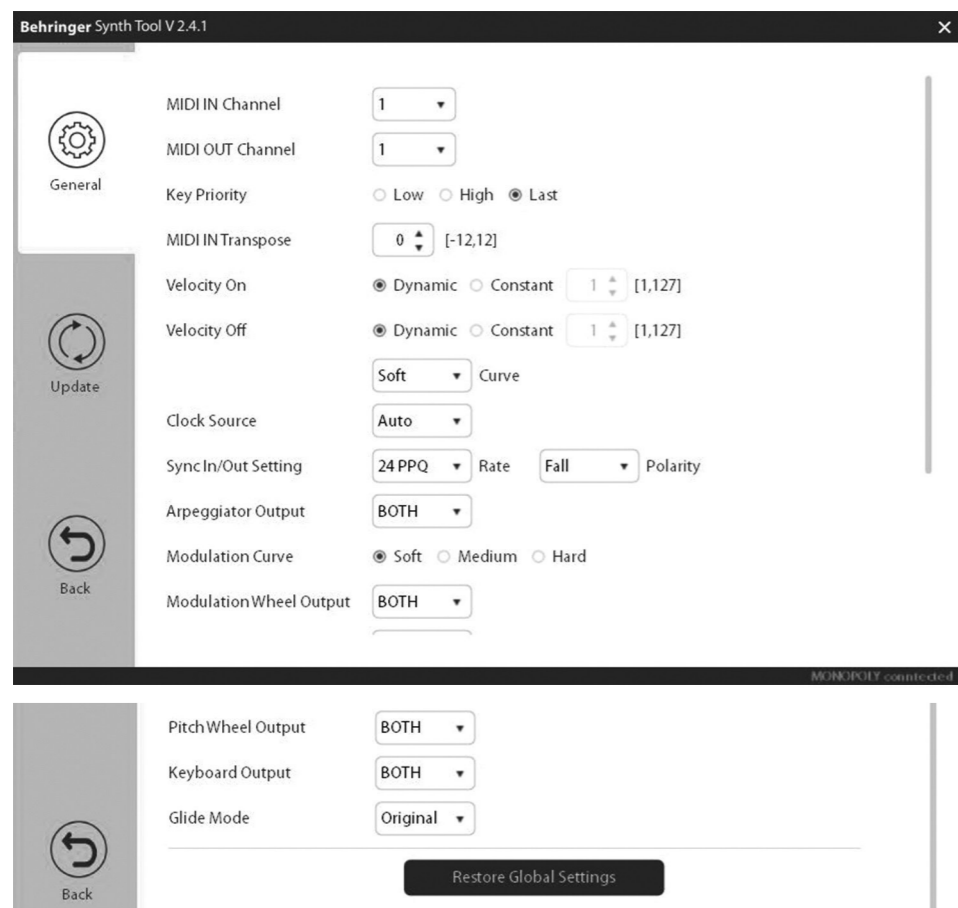
# MONOPOLY SynthTool

「Synthtool.exe」アプリケーションを使用すると、MIDI チャンネル番号を選択したり、MONOPOLY のさまざまなパラメーターを好みに合わせて設定および調整したりできます。

MONOPOLY を USB 経由でコンピューターに接続し、アプリケーション (PC または MacOS) を実行します。

SynthTool.exe または MONOPOLY のドキュメントの更新については、当社の Web サイトを定期的に確認してください。

## 典型的な SynthTool 画面



注: OUTPUTパラメーターの場合、オプションは MIDI (DIN)、MIDI (USB)、または BOTH です。

パラメーターには、MIDI システムエクスルーシブ (SysEx) コマンドを介してアクセスすることもできます。以下の情報をご覧ください。

## MONOPOLY システム専用データシート

「Synthtool.exe」アプリケーションを使用すると、MIDI チャンネル番号を選択したり、MONOPOLY のさまざまなパラメーターを好みに合わせて設定および調整したりできます。

パラメーターには、MIDI システムエクスルーシブ (SysEx) コマンドを介してアクセスすることもできます。以下の情報をご覧ください。

### SYSEX を介した値の設定

SysEx メッセージを使用してグローバル値を設定するには、次のデータ形式を使用します。

F0 00 20 32 00 01 0c aa bb cc D0 ... Dn F7

00 20 32 = SYSEX ID 番号を製造する (Behringer GmbH)

00 01 12 = モノポリーのモデル ID

aa = デバイス ID: 00-0x7F (ハードウェアデバイス ID と一致する必要があります)、  
またはすべてのデバイスをアドレス指定する場合は 0x00。

bb = パケット番号

cc = サブパケット番号 (一部のメッセージには存在しない可能性があります)。

D0..Dn = パケットペイロード

## コマンドテーブル

パケット番号	SysEx パケット	関数	注意	デフォルト
0E	F0 00 20 32 00 01 12 DID 0E 01 nn mm F7	Set MIDI channel	nn = Midi TX channel number to be set, range from [0-15] mm = Midi RX channel number to be set, range from [0-16], 16 = All channel.	nn = [0] mm = [0]
0F	F0 00 20 32 00 01 12 DID 0F nn F7	Set MIDI IN Transpose	nn = transpose value [0-24]. Transpose range is -12 to +12, so 12 is no transpose.	[1]
10	F0 00 20 32 00 01 12 DID 10 nn mm pp F7	Set velocity info	nn = Key velocity of note on, 1 - 127 is a fixed value of velocity; 0 is dynamic velocity. mm = Key velocity of note off, 1 - 127 is a fixed value of velocity; 0 is dynamic velocity. pp = velocity Curve: 0 - SOFT, 1 - MED, 2 - HARD	nn = [0], mm = [0], pp = [0]
12	F0 00 20 32 00 01 12 DID 12 nn F7	Set key priority	[0-LOW, 1- HIGH, 2-LAST]	[2 - LAST]
15	F0 00 20 32 00 01 12 DID 15 nn F7	Set modulation curve.	nn = curve [0-SOFT, 1-MED, 2-HARD]	[0 - SOFT]
19	F0 00 20 32 00 01 12 DID 19 nn F7	Set external clock polarity.	nn = [0—FALL, 1—RISE],	[1—RISE]
1A	F0 00 20 32 00 01 12 DID 1A nn F7	Set sync clock rate	nn = [0 - 1 PPS, 1 - 2 PPQ, 2 - 24 PPQ, 3 - 48 PPQ]	[2--24 PPQ]
1B	F0 00 20 32 00 01 12 DID 1B nn F7	Set sync clock source.	nn = [0 - Internal, 1 - MIDI DIN, 2 - MIDI USB, 3 - TRIG]	[0 - Internal]
21	F0 00 20 32 00 01 12 DID 21 nn F7	Set MIDI output of modulation wheel	nn = [0—OFF, 1—MIDI DIN, 2—MIDI USB, 3-BOTH]	[3-BOTH]
22	F0 00 20 32 00 01 12 DID 22 nn F7	Set MIDI output of pitch wheel	nn = [0—OFF, 1—MIDI DIN, 2—MIDI USB, 3-BOTH]	[3-BOTH]
23	F0 00 20 32 00 01 12 DID 23 nn F7	Set MIDI output of keyboard	nn = [0—OFF, 1—MIDI DIN, 2—MIDI USB, 3-BOTH]	[3-BOTH]
26	F0 00 20 32 00 01 12 DID 26 nn F7	Set MIDI output of arpeggiator	nn = [0—OFF, 1—MIDI DIN, 2—MIDI USB, 3-BOTH]	[3-BOTH]
27	F0 00 20 32 00 01 12 DID 27 nn F7	Set glide option	nn = [0-Improved, 1-Original]	[1-Original]
7D	F0 00 20 32 00 01 12 DID 7D F7	Restore factory settings		



## コマンド例

コマンド	関数
F0 00 20 32 00 01 12 00 0E 01 03 04 F7	Set MIDI channel: TX channel = 0x3, RX channel = 0x4
F0 00 20 32 00 01 12 00 0F 18 F7	Set MIDI IN Transpose +12 (+1 Octave)
F0 00 20 32 00 01 12 00 10 00 30 00 F7	Set velocity: Velocity Note On = dynamic. Velocity Note Off = 48 Velocity Curve = SOFT
F0 00 20 32 00 01 12 00 12 01 F7	Set key priority = High
F0 00 20 32 00 01 12 00 15 02 F7	Set modulation curve = HARD
F0 00 20 32 00 01 12 00 19 00 F7	Set external clock polarity FALL.
F0 00 20 32 00 01 12 00 1A 02 F7	Set sync clock type 24PPQ
F0 00 20 32 00 01 12 00 1B 02 F7	Set sync clock source as USB
F0 00 20 32 00 01 12 00 21 00 F7	Set MIDI output of modulation wheel as OFF
F0 00 20 32 00 01 12 00 22 01 F7	Set MIDI output of pitch wheel as MIDI DIN
F0 00 20 32 00 01 12 00 23 02 F7	Set MIDI output of keyboard as MIDI USB
F0 00 20 32 00 01 12 00 26 02 F7	Set MIDI output of arpeggiator as MIDI USB
F0 00 20 32 00 01 12 00 27 01 F7	Set glide option as Original
F0 00 20 32 00 01 12 00 7D F7	Restore factory settings

# MONOPOLY Patch Sheet

# Patch Number

DATE:	AUTHOR:	TITLE:
NOTES:		






VOLUME OUTPUT <input type="checkbox"/> HIGH <input type="checkbox"/> LOW <input type="checkbox"/> OFF	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	WAVEFORM MG1 <input type="checkbox"/> FULL <input type="checkbox"/> ZIGZAG <input type="checkbox"/> 1 OCT <input type="checkbox"/> 2 OCT	WAVEFORM MG2 <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	PWM <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	PORTAMENTO 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	MASTER TUNE b 1 2 3 4 5 6 7	WAVEFORM VCO 1 <input type="checkbox"/> PW <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> VCO 2 <input type="checkbox"/> VCO 3 <input type="checkbox"/> VCO 4	OCTAVE 16° 8° 4° 2°	LEVEL 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	CUTOFF 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	RESONANCE 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	VCF EG -2 -1 0 +1 +2 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2	KBD TRACK 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
BEND WHEEL <input type="checkbox"/> VCO1/VCO2 PITCH <input type="checkbox"/> VCF <input type="checkbox"/> VCF	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	WAVEFORM MG1 <input type="checkbox"/> FULL <input type="checkbox"/> ZIGZAG <input type="checkbox"/> 1 OCT <input type="checkbox"/> 2 OCT	WAVEFORM MG2 <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	PWM <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	PORTAMENTO 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	MASTER TUNE b 1 2 3 4 5 6 7	WAVEFORM VCO 1 <input type="checkbox"/> PW <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> VCO 2 <input type="checkbox"/> VCO 3 <input type="checkbox"/> VCO 4	OCTAVE 16° 8° 4° 2°	LEVEL 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	CUTOFF 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	RESONANCE 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	VCF EG -2 -1 0 +1 +2 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2	KBD TRACK 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
BEND WHEEL <input type="checkbox"/> VCO1/VCO2 PITCH <input type="checkbox"/> VCF <input type="checkbox"/> VCF	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	ARPEGGIATOR <input type="checkbox"/> UP <input type="checkbox"/> DOWN <input type="checkbox"/> LATCH ON <input type="checkbox"/> OFF	ON/OFF EFFECTS <input type="checkbox"/> HOLD <input type="checkbox"/> MONO <input type="checkbox"/> POLY	CHORD MEMORY <input type="checkbox"/> UNISON <input type="checkbox"/> UNISON-SHARE <input type="checkbox"/> POLY	TRANSPOSE <input type="checkbox"/> UP <input type="checkbox"/> NORMAL <input type="checkbox"/> DOWN	TRIGGER <input type="checkbox"/> SINGLE <input type="checkbox"/> MULTIPLE	AUTO DAMP <input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	POWER <input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF							



# MONOPOLY Default Patch

NOTES: The simplified settings shown below will help you get started making sounds, with VCO1 as a triangular waveform. Some control settings are shown with an arrow. These do not need to be on maximum, just as long as they are at least half-way or more, to get you started.

VOLUME OUTPUT <input type="checkbox"/> HIGH <input type="checkbox"/> LOW <input type="checkbox"/> OFF	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	WAVEFORM MG1 <input type="checkbox"/> FULL <input type="checkbox"/> ZIGZAG <input type="checkbox"/> 1 OCT <input type="checkbox"/> 2 OCT	WAVEFORM MG2 <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	PWM <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> MG1 <input type="checkbox"/> MG2	PORTAMENTO 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	MASTER TUNE b 1 2 3 4 5 6 7	WAVEFORM VCO 1 <input type="checkbox"/> PW <input type="checkbox"/> VCF EG <input type="checkbox"/> VCO 2 <input type="checkbox"/> VCO 3 <input type="checkbox"/> VCO 4	OCTAVE 16° 8° 4° 2°	LEVEL 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	CUTOFF 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	RESONANCE 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	VCF EG -2 -1 0 +1 +2 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2	KBD TRACK 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
BEND WHEEL <input type="checkbox"/> VCO1/VCO2 PITCH <input type="checkbox"/> VCF <input type="checkbox"/> VCF	INTENSITY 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	ARPEGGIATOR <input type="checkbox"/> UP <input type="checkbox"/> DOWN <input type="checkbox"/> LATCH ON <input type="checkbox"/> OFF	ON/OFF EFFECTS <input type="checkbox"/> HOLD <input type="checkbox"/> MONO <input type="checkbox"/> POLY	CHORD MEMORY <input type="checkbox"/> UNISON <input type="checkbox"/> UNISON-SHARE <input type="checkbox"/> POLY	TRANSPOSE <input type="checkbox"/> UP <input type="checkbox"/> NORMAL <input type="checkbox"/> DOWN	TRIGGER <input type="checkbox"/> SINGLE <input type="checkbox"/> MULTIPLE	AUTO DAMP <input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	POWER <input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF							





# JP 技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ	
モード	コードメモリー、ユニゾンモノ、ユニゾンシェア、ポリ
タイプ	アナログ
発振器	4 (32.7 Hz to 4.186 Hz)
LFO	
MG1	0.1 Hz~20 Hz
MG2	0.1 Hz~30 Hz
VCF	ローパスフィルター、24 dB/oct. スロープ
封筒	VCA, VCF
MIDIチャンネル	16
接続性	
MIDI イン/アウト/スルー	5ピン DIN
USB (MIDI)	タイプ B
主な出力	1 x ¼" TS, 不均衡
最大出力レベル	+6 dBu
インピーダンス	700 Ω
ヘッドホン	1 x ¼" TRS, ステレオ
最大出力レベル	-2 dBu
外部制御入力	
アルペジエーター同期	1 x ¼" TRS, ヒント=時計、リング=スタート/ストップ信号
ポルタメント	1 x ¼" TS, 不均衡
VCF カットオフ周波数 mod	1 x ¼" TS, 不均衡, -5V ~ +5V
VCO 周波数 mod	1 x ¼" TS, 不均衡, -5V ~ +5V, 10ct/V
トリガー	1 x ¼" TS, 不均衡
履歴書	1 x ¼" TS, 不均衡, 10ct/V
内部統制出力	
トリガーアウト	1 x ¼" TS, 不均衡
CV アウト	1 x ¼" TS, 不均衡, 10ct/V
スイッチ	トリガーの極性: 15V, 接地
一般的なコントロール	
ノブ	出力音量: 0~10、調整可能 バンドホイールの強度: 0から 10、調整可能 MG1 ホイール強度: 0から 10、調整可能 ポルタメント: 0から 10、調整可能 マスターチューン: 0から 10、調整可能 デチューン: 0から 10、調整可能
スイッチ	出力: 高/低/オフ バンドホイール: vco1/スレーブ vco/ピッチ/vcf MG1 ホイール: vco1/スレーブvco/ピッチ/vcf 移調: 上/通常/下

変調	
ノブ	MG1 周波数: 0から 10、調整可能 MG1 波形: 三角 / 逆鋸 / 鋸 / パルス、選択可能 MG2 周波数: 0から 10、調整可能 PWM 強度: 0から 10、調整可能 PW 強度: 0から 10、調整可能 X-mod: 0から10、調整可能 周波数 mod: 0から10、調整可能
スイッチ	PMW: vcf eg / mg 1 / mg 2 Freq mod: vcf eg / mg 1 モード: sync / s&x / x-mod モード: シングル / ダブル
LED (赤)	Mg 1 周波数 Mg 2 周波数
アルペジエーター	
スイッチ	フル / 2 オクターブ / 1 オクターブ 上 / 下 / 上+下 ラッチ / オン / オフ
効果	
スイッチ (LED 付き)	効果: オン / オフ
キー割り当てモード	
スイッチ (LED 付き)	ホールド コードメモリー (モノラル) ユニゾン (モノ) ユニゾン/シェア (ポリ) ポリ
オシレーターバンク	
ノブ	調整 (OSC 2, 3, および4): 調整可能 波形: 三角 / 逆鋸 / pwm / pw、選択可能 オクターブ: 16', 8', 4', 2', 選択可能 レベル: 0から 10、調整可能
LED (赤)	VCO 1, 2, 3, 4 オン
VCF セクション	
ノブ	カットオフ周波数: 0~10、調整可能 共鳴: 0から 10、調整可能 EG 強度: -5~+5、調整可能 キーボードトラック: 0~100%、調整可能
VCF エンベロープジェネレーター	
ノブ	攻撃時間: 0から 10、調整可能 減衰時間: 0から 10、調整可能 サステインレベル: 0から 10、調整可能 リリース時間: 0から 10、調整可能

VCA エンベロープジェネレーター	
ノブ	攻撃時間: 0から 10、調整可能 減衰時間: 0から 10、調整可能 サステインレベル: 0から 10、調整可能 リリース時間: 0から 10、調整可能
右下セクション	
ノブ	ノイズレベル: 0から 10、調整可能
スイッチ	トリガー: 単一 / 複数 自動湿し: オン / オフ
キーボードとホイール	
ホイール	ピッチ MG 1
キーボード	37、ベロシティ付きのセミウェイト、フルサイズのキー
USB	
タイプ	クラス準拠の USB 2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows XP 以降 Mac OS X 10.6.8 以降
電力要件	
外部電源アダプター	12VDC 1000 mA
消費電力	9W max.
環境	
動作温度範囲	5°C - 40°C (41°F - 104°F)
物理的	
寸法 (高さ x 幅 x 深さ)	90 x 648 x 361 mm (3.5 x 25.5 x 14.2")
重量	10.3 kg (22.7ポンド)

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You